

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	横浜市における安全・安心のかわづくり重点計画（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横浜市												
計画の目標	大型台風や集中豪雨の多発、都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、緊急点検を踏まえた中小河川の緊急治水対策を重点的に実施するとにより水害に強い都市をつくり、安全安心な市民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,658	A	7,658	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	中小河川緊急治水対策プロジェクトにおける対策区間について治水対策を完了する。 対策完了延長の割合（%）= 対策完了護岸延長（m） / 対策区間護岸延長（740m）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
河川事業	A03-001	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	帷子川都市基盤河川改修事業	L=7,480m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						2,668		-	
	A03-002	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	今井川都市基盤河川改修事業	L=4,740m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						3,537		-	
	A03-003	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	都市基盤(2)	-	阿久和川都市基盤河川改修事業	L=5,440m、護岸、橋梁、用地取得	横浜市						1,453		-	
												小計						7,658		
												合計							7,658	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和7年度
	公表の方法 横浜市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	重点計画からは1年間みの補助金交付であったが通常計画へ移行したことで、元町橋周辺と慶林橋周辺を除きR4までに完了した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【学識経験者の意見】 定量的指標である740mの護岸整備に対し、2つの橋梁周辺を除いて事業が完了していることを確認した。残された2つの橋梁についても、R7に完了予定との報告を受けた。そのため、一部事業の進展が遅れたところはあるものの、ほぼ計画どおり順調に河川改修事業が進められたと評価できる。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	13%
		平成31年度から重点計画の要件が変更となり、中小河川緊急治水対策プロジェクトを通常計画へ統合したため。